

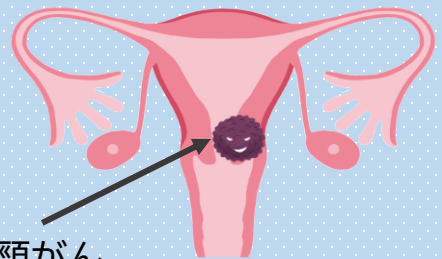
子宮頸がんは 予防できるがんです

Q1 子宮頸がんってどんな病気？

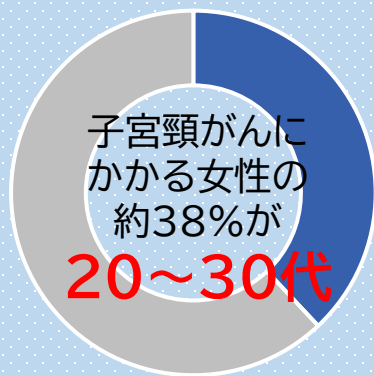
子宮の入り口にできる「がん」のことです。

主に**ヒトパピローマウイルス(HPV)**
というウイルスの感染が原因で発症します。

HPVは性交渉の経験がある女性なら誰でも
感染する可能性のあるウイルスです。



子宮頸がん



Q2 何人くらいが発症するの？

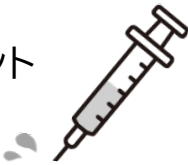
日本では毎年**約10,000人**の女性が
子宮頸がんと診断され、年間**約2,700人**
が命を落としています。

20歳代後半から増加しはじめ、特に30歳から
50歳代で多くなります。

国立がん研究センターがん情報サービス

子宮頸がんを予防するために HPVワクチンの接種と子宮頸がん検診を

ポイント
1



ワクチンを接種することで
子宮頸がんの原因である
HPVの感染を予防します。
接種については市ホーム
ページをご確認ください。

ポイント
2



検診を受診することで
がんになる前の状態で
発見・治療が可能です。
検診は20歳から受診
できます。

詳細は
こちら▶



「私だけは大丈夫」と思わずにぜひワクチンの接種と検診を受けましょう

問合せ: 糸魚川市健康増進課 TEL025-552-1511(代)

